

## 聴力は変わることもあります

もしあなたの子供が次のような条件にあてはまれば3歳までに年に2回は聴力検査が必要です。

- 誕生時に感染症（風疹、トキソプラズマ症、サイトメガロウイルス）にかかった
- 誕生後に感染症（髄膜炎）にかかった
- 低体重児（1500グラム以下）
- 黄疸で輸血が必要
- 頭または顔の障害（三口など）
- 誕生時の呼吸困難
- 頭のが
- 耳に害を与える薬の服用
- 2日以上新生児治療集中室に入院
- 家族に難聴の人がいる場合

もっと情報が必要な場合は、次へ  
電話をしてください

ハワイケイキンフォメーションサービス  
(H-KISS)

情報と紹介番号

H-KISS オアフ  
973-9633  
(音声又はTDD)

H-KISS 他島  
無料電話

1-800-235-5477  
(音声又はTDD)

正常な聴力は赤ちゃんの言葉  
の習得につながります



聴力検査はいつでも受けられます。



リンダ リングル 州知事  
(Linda Lingle, Governor)  
チヨメ フキノ 医学博士 州衛生局長  
(Chiyome Leinaala Fukino, M.D., Director of Health)

ハワイ州衛生局は人種、皮膚の色、国籍（言語を含む）、年齢、性別、宗教、または障害にかかわらずに活動へのアクセスを提供しています。問題があった場合は180日以内に書簡で Affirmative Action Officer BOX 3378、Honolulu, HI 96801-3378 まであるいは電話(808) 586-4616まで連絡してください。

衛正福祉局、衛正情報サービス課の母子健康部（ソーシャルセキュリティ法 第5条）の H61 MC00038 プロジェクトによって運営されています。

Rev. 10/04 (Language: Japanese)



新生児聴力検査プログラム  
早期治療部  
ハワイ州衛生局

あなたの子供は言葉を習得していますか？

あなたの子供は・・・

誕生時から 3ヶ月

大きな音にびっくりする（約2m離れた場所より）

キャアキャア声をだす

母親の声に反応しおとなしくなる

3ヶ月から 6ヶ月

おもしろい音（おもちゃ等）の方へ頭か目をむける

何種類かの音をいう（ううー、ばーばー、マーマーなど）

自分の名前に笑顔で答える

6ヶ月から 9ヶ月

音楽や歌声に耳を傾ける

発音や音の真似をする

「ダメ」や「バイバイ」が分かる

9ヶ月から 12ヶ月

音の方へ振り向く

b,m,p,d,t,n,g,k,w,f,v,th,s,z,lなどの発音をまねるようになる

ママ、ダダなど意味のある1語を言う

12ヶ月から 18ヶ月

体の部分、人物、おもちゃなどを言うと指さす

始めや終わりの子音を省く（キャットをキャッと言う）

50-70語を理解する

18ヶ月から 24ヶ月

約300語を理解する

約50語くらいの言葉を使う

簡単な指示に従う

24ヶ月から 36ヶ月

新しい言葉を毎日習得する

言ってる言葉の半分は正しい発音をする

Whを使った質問に答える（WhyやWhat）



## 言語の習得に最も大切な時期は最初の3年間です。

この期間に赤ちゃんがすみやかに言葉を習得するには正常な聴力が必要です。



あなたの子供が聴くということを学ぶ手伝いをしましょう

うるさい家電（エアコン、ラジオ、扇風機など）を切り周りの騒音を最低限に押さえます。家の中で一番静かな部屋を子供部屋とし子供と話をたくさんします。

子供が興味を示すことの話をしましょう。子供が見てる物やすることの説明をしてあげます。遊びの中で何を話したいか子供にリードさせましょう。

話しかけるときは、あなたの顔の表情が見えるように子供の目の前に座りましょう。聞こえる耳の方へ座って話しかけましょう。

普通の声（高くもなく低すぎない声）で話しましょう。普段どおりに話しかけましょう。

子供の真似をしましょう。子供はあなたがまねをして同じ様に話しているのを聴くのが大好きです。1語から2語を母音の発音を焦点をおきながら話しましょう。

子供があなたの声を聞くように手伝ってあげましょう。声の高さやリズムを変えて話してみましょう。何回も繰り返して話すことが必要です。

子供があなたとコミュニケーションを取ろうとしたら褒めてあげましょう。子供が音や声に反応したり聞き取ろうとしたら褒めてあげてください。（たとえば、音が聞こえたら静止した、目線を合わせた、物を指さした、音の真似をした、体の向きを変えたなど）。